

第7期甲斐市 男女共同参画推進委員会 活動報告



目次

- 活動報告 … 1～2
- 啓発活動 … 3～4
- デートDV講演会 … 5
- 子ども料理教室 … 6

第7期甲斐市男女共同参画推進委員会 活動報告まとめ（H30.8～R2.7）



男女共同参画社会とは

男性も女性もお互いに人権を尊重しつつ、責任も分かち合い、性別に関わりなく個性と能力を十分に発揮することができる社会のことです。

人口減少や高齢化など、社会がさまざまな変化を遂げていく中、より社会を活性化していくためには、「男だから」「女だから」といったイメージにとらわれない“男女共同参画社会”が必要です。

甲斐市と甲斐市男女共同参画推進委員会では、このような社会の実現を目指し、啓発活動をはじめ、さまざまな活動を行っています。

▼委員会活動（月1回会議）

テーマを『災害対策』とし、防災部会と復興部会に分かれて協議し、事業を進めました。



▼研修

様々な研修を通じ男女共同参画や災害・防災に関する正しい知識を身につけました。

▽防災対策センター（中央市：防災対策センター）

▽男女共同参画推進フォーラム（埼玉県：国立女性教育会館）



▼啓発活動（P3～）

自分たちが学んだ知識を活かし、各自治会や団体に男女共同参画の視点から考えた防災・復興について啓発し、一人ひとりの考えを深めてもらいました。

▽RI 竜王3区、下八幡2区

▼男女共同参画推進標語・川柳の募集

毎年8月に男女共同参画に関する標語・川柳の募集をしています。平成30年度は637作品、令和元年度は632作品の応募をいただきました。

男女共同参画推進標語最優秀賞作品

平成30年度		令和元年度		(敬称略)
【中学生の部】	玉幡中 清水彩生	【中学生の部】	敷島中 小林龍一	
参画社会	男女の知恵で 広がる未来	男女とも	良いところ尊重	参画社会
【一般の部】	西八幡 宮沢あかね	【一般の部】	大空 原 勇貴	
お互いに	認めて生かそう 男女の個性	人として	みんなが主役	共同参画

▼デートDV講演会 (P5)

若い世代にDVに対する正しい知識・判断を身につけてもらうため、中学生を対象に講演会を実施しています。

▽H30 敷島中学校 (講師：女性の人権サポートくろーばー 清水美穂氏)

▽RI 玉幡中学校 (講師：女性の人権サポートくろーばー 青柳明美氏)

▼子ども料理教室 (P6)

市内小学生4年生から6年生を対象とする料理教室を開催しました。

▽H30 双葉保健福祉センター

▽RI 竜王保健福祉センター



▼意識調査アンケート

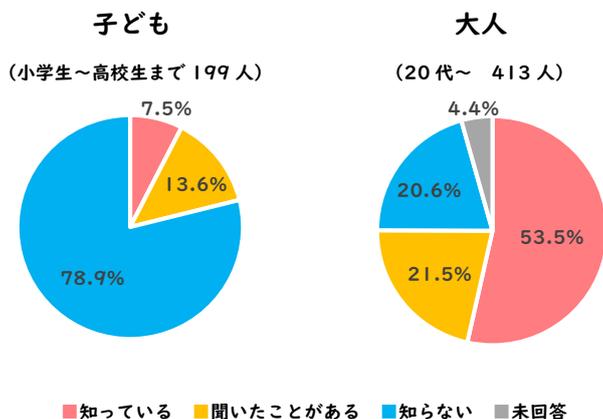
市内でアンケートを実施し、男女共同参画に関する意識調査と啓発・推進に努めています。

▽H30 わくわくフェスタ

▽RI 市内各地イベント等



令和元年度 男女共同参画意識調査結果 Q.男女共同参画について知っていますか？



▼ 啓発活動

男女共同参画の視点から考える災害対策

自分たちが学んだ知識を活かし、各自治会や団体で男女共同参画の視点から考えた防災・復興について啓発活動を行いました。

防災部会からは、普段から準備をしておく備品などをまとめたチラシを配布し、個々に必要な防災の準備の仕方などを説明しました。復興部会からは、避難所で実際にあった例をクイズにまとめ、皆さんがそういった場面になった場合、どういう行動・指示をとるべきなのかグループで話し合ってもらい、考えを深めてもらいました。

▼ 令和元年9月16日（月） 竜王3区

参加人数：30人



▼ 令和元年11月16日（土） 下八幡2区

参加人数：24人



復興クイズ



Q1

避難所に仮設トイレを10基設置することになりました。男性も女性も同じくらい避難しています。男性専用と女性専用、それぞれ何基に分けて設置しますか？

Q2

避難所生活3日目、女性専用更衣室が欲しいとの声。避難所には大部屋以外に1部屋あるが、現在20名程が避難している。移動してもらいますか？また、移動してもらうのであれば、誰が伝えますか？

Q3

避難所を運営する中で、夜間の警備（見回り）をしたほうが良いとの意見が出た。警備は女性にもやってもらうべき？



このクイズは実際に避難所で

起こった事を問題にしています。

皆さんはどのような解決策が思い浮かびましたか。

避難所では、その避難所の運営委員会で決定したことが正解となります。したがって、男性もしくは声の大きな人の判断に偏りがちな場面において、性別や職種などで活動範囲を限定するのではなく、それぞれ得意な分野で活躍できるように情報の共有や提案をしていくことが必要です。



以下の答えはその避難所での対応結果になりますので、これが必ずしも正解という訳ではありませんが、参考にさせていただき、自分たちの地域に合った避難所の運営方法について考えていただければと思います。

A1. 男性用を4基、女性用を4基、男女共有を2基とした。

→ 科学的にもトイレの時間が長いのは女性と言われていますが、女性の数を増やすと中には不満に思われる方も。ここでは2基共有を設けることになりました。また、トイレについては昼夜問わず安全である場所に設置することが重要です。

A2. 運営担当である自治会長が移動してもらうように伝えた。

→ ここでは更衣室が必要という結論となったため、自治会長さんが言うことになりました。言う側・言われる側の負担を減らす意味でも、更衣室や授乳室などといったプライバシーの守れる場所は開設当初からの設置が必要です。

A3. 男性と女性でペアを作り、女性にも警備をもらった。

→ 男性だけになった場合の最悪の事態（性犯罪等）を想定したうえでの編成となりました。なお、女性が組織にいて、女性が安心できるまたは相談しやすい環境づくりが臨めます。

▼デート DV 講演会

DVとは、配偶者や交際相手など親密な関係にある、またはあった者から振られる暴力のことです。高校生や大学生など10代～20代の若い世代の間でも「交際相手からの暴力」が起きており、これをデートDVと言います。

甲斐市男女共同参画推進委員会では、若い世代にDVに関する正しい知識や判断を身につけてもらうため、平成24年度よりデートDV講演会を毎年開催しています。平成30年度と令和元年度につきましては、市内の中学校3年生を対象に「女性の人権サポートくろーばー」より講師の方を迎え、参加した生徒一人ひとりに問いかけながら講演を行いました。

暴力の種類

殴る・蹴るだけではなく、次のような行為も暴力です。

- ▶身体的暴力…殴る・蹴る 等
- ▶精神的暴力…人格を否定するような暴言を吐く 等
- ▶性的暴力…性行為を強要する 等
- ▶経済的暴力…生活費を渡さない 等
- ▶子供を巻き込んだ暴力…虐待・子供に暴力を見せる 等

▼平成30年11月19日（月） 敷島中学校

講演：デートDV ～お互いを大切にできる関係とは～

講師：清水美穂氏

- ▶行き過ぎた愛は怖いと思った。
- ▶身体だけでなく、言葉でもDVになることが分かった。
- ▶些細なことでもDVになることを知った。気をつけたい。
- ▶困っている人や悩んでいる人がいたら助けになれるようにしたい。
- ▶自分の気持ちを伝えることは大事だけど、相手の気持ちも理解し、尊重することが大切だと分かった。
- ▶自分と相手にとって何が一番大切なのかがよく分かった。



毎年「女性に対する暴力をなくす運動」期間（11月12日から25日）に実施

▼令和元年11月19日（火） 玉幡中学校

講演：あれ？これって平等で対等な関係？

講師：青柳明美氏



- ▶暴力は決して愛ではないということが分かった。
- ▶身近にあり、十分に気をつけなければならないと思った。
- ▶DVの意味や怖さを知ることができた。
- ▶一人で抱え込まずに相談して解決していきたい。
- ▶DVする側、される側にならないように気をつけたい。
- ▶平等で対等な関係という言葉をしっかり覚えておきたい。
- ▶相手の考えや思いを理解しようとする態度をもって接していきたい。



▼子ども料理教室



男女共同参画推進活動及び創甲斐教育の一環として、子どもたちが料理する楽しさを知ること、食に対する関心を持ち、家事をするきっかけとなり、家事を家族で分担し、支え合うことを目的とする啓発活動として、小学生を対象に「子ども料理教室」を実施しています。平成30年度と令和元年度につきましては、クリスマスモチーフとした料理を管理栄養士（甲斐市職員）と男女共同参画推進委員と一緒に作りました。

▼平成30年12月15日（土） 双葉保健福祉センター

参加人数：22人

メニュー：ビーフシチューパイ、野菜サラダ（リース型）、カップケーキ



▼令和元年12月7日（土） 竜王保健福祉センター

参加人数：17人

メニュー：ミートローフ、サンドイッチ、コールスロー、マシュマロクッキー



㊦マシュマロクッキーの作り方㊦

材料：マシュマロ（人数分）、

お好みのナッツ・カラーゼリー・ココアパウダーなど（適量）

- ① クッキングシートにマシュマロの乗せ、120℃に予熱したオーブンで10分焼く。
- ② 柔らかくなったマシュマロをオーブンから取り出し、お好みのナッツやカラーゼリーを乗せる。
- ③ 再度120℃のオーブンで40分焼く。焼きあがったらそのまま冷めるまで置いておく。冷めたらクッキングシートからはがして出来上がり。





編集／発行：2020年7月

第7期甲斐市男女共同参画推進委員会

委員長 雨宮 優

【防災部会】

副委員長 小林正明

委員 五味和江 望月 守
立澤妙子 弓田仁美
深澤 薫

【復興部会】

副委員長 柳本亮子

委員 芦澤早苗 立原 昇
石田冬子 廣瀬俊江
猪股俊公 三井倫実

事務局 甲斐市役所 市民活動支援課

〒400-0192 甲斐市篠原 2610 番地

TEL：055-278-1704